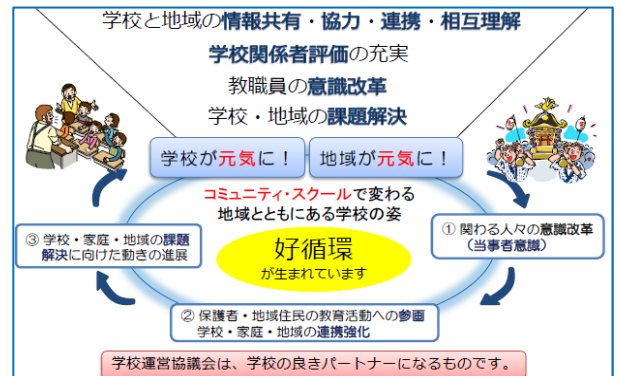


令和3年度学校運営協議会活動状況報告

令和3年度は学校運営協議会を2回実施予定でしたが、いずれも新型コロナウイルス感染症感染拡大の時期と重なり、感染防止の観点から書面での実施としました。「交流及び共同学習」「地域防災」「学校評価」の3つを協議の柱とし、資料を配付した上で、各委員の皆様から御意見やアドバイスを頂きました。

1 令和3年度松橋東支援学校運営協議会委員の皆様

池邊 顕嗣朗様(熊本県こども総合療育センター 所長)
沼田 宗生様(熊本こすもす園 園長)
松本 一彌様(本校第10代校長)
志水 英子様(宇城市立当尾小学校 校長)
高野 瑛百合様(熊本県くすのき園 部長)
橋本 孝博様(豊福校区代表)
岩井 智様(宇城市健康福祉部社会福祉部長)
浦上友紀様(宇城教育事務所 指導主事)
茅 真美様(本校保護者 PTA 会長)



2 協議会から出された主な意見

第1回

- ・重点目標、具体的目標、具体的対応について、肢体不自由児教育と病弱訪問教育とでは異なる部分もあると考えるので、区分が明示されると分かりやすいのではないかと。
- ・防災計画、避難所マニュアル等については、動員体制及び組織編成がきちんと計画してある。
- ・たかが訓練ではなく、訓練を重ねることで実際の場面で慌てることなくできるものである。
- ・課題に対して、すぐ対応されておられるところが素晴らしいです。参考になります。
- ・松橋東防災拠点センターでは避難しきれない場合もあると想定されるので、引き続き対応の検討が必要だと思われる。
- ・ケース会が「ある」と「ない」とではその差は大きいですが、「30分」かけるのと「1時間」かけるのでは、その差はそれほど大きくない。時間を有効に使って欲しい。各種会議の在り方については、大いに見直して欲しい。

第2回

- ・コロナ禍にあつて、様々な工夫をしておられる。HP のブログなど日々の積み重ねもあり、教育活動の充実のみならず、保護者・地域との連携にも努力されていることが分かった。
- ・ICT 推進委員会の立ち上げと定期研修、オンラインでの公開授業研究会等、先生方の意欲、熱意、行動力に刺激を受けました。
- ・松橋東支援学校と松橋支援学校との統合は是非実現して欲しい。
- ・来年度の企画内容の中で、消防署見学をしたいとありますが、これについては、長い消防署勤務の経験がありますので、協力できると思います。
- ・オンライン交流が進展しているのは、大きな特色だと思う。地域人材活用等も、ICT の活用をより一層進展させるような方向性で企画されるとよい。例えば肢体不自由児もできるオンライン対抗型ゲームを共同学習として開発する。地域人材に指導や助言をお願いし、オンラインで実践する様な企画はどうか。
- ・地域や他校との交流を活発化させるためには、まず、学校から情報発信していく必要がある。できれば、児童生徒自身が、自分自身の情報(夢や希望や作品など)を発信できるようになれば、交流の地域を広げることができるのではないかと。

3 令和4年度に向けての学校の取組

- ・コロナ禍で本校の教育活動を直接ご覧いただく機会は来年度も限られると思われる。子どもたちの学習活動の様子や成果物等を公開する機会を可能な限り創出し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- ・子ども自身が直接地域の方々等に働きかけて交流するなど、ICT 発展的な活用のありかたについても検討する。